

Amir Tsarfati 氏 中東情勢アップデート 2018年10月19日公開

.....

こんばんは。アミール・ツアルファティです。イスラエルのテルアビブより、中東時事アップデートを行っています。

お祈りしてから、この1週間に起こったいくつかの事、ガザ地区の件から、サウジアラビアのジャーナリストに至るまで、全てをお話しします。

彼はただ殺されただけでなく、トルコにあるサウジの領事館で、バラバラに切り刻まれた可能性が高いようです。

現在、サウジアラビアで何が起きているのかについても、お話しします。

それから、ロシアについて、イスラエルについて、お話しすることがたくさんあります。

では、お祈りしましょう。

お父様。あなたの御言葉、あなたの約束に感謝します。

お父様。ありがとうございます。私達はここで、自分達の計画を、自分達の言葉を使って話し合うために集まっているではありません。

お父様。もしこれが自分たちのこと、またこの世のことが全てであれば、私達は時間を無駄に過ごしています。

お父様。私達は、目的があって、いつの間だけここに居る事を理解しています。

そして今日、私達は、世の出来事を見て、私たちの生きている時代と季節を理解したいと思います。

そして、あなたの御言葉、あなたの約束、それから私たちの周りで起きている事柄から、たくさんの励ましと慰めを得たいのです。

ですから今日、イスラエルと世界中より、あなたの御名を祝福します。

イエスの御名によって。アーメン！

アーメン！皆さん、テルアビブよりシャローム。こんばんは。アミール・ツアルファティです。

また皆さんとご一緒出来る事を嬉しく思います。私は、ツアーとツアーとの間に、家族の元に戻って良い1週間を過ごしました。

経験者グループのツアーが始まったばかりです。すでにイスラエルを訪れたことのある人達のツアーで、ヨルダンなど、一般では見れないような場所をご案内します。素晴らしい時間になるでしょう。今回は、異なる6カ国から集まりました。

ぜひ、皆さんも私達のツアーにご参加下さい。そして、神がされていること、それから神が今後される事を、ご自分の目で確認してください。

それから、Behold Israelの無料アプリをまだダウンロードしていない方は、どうぞ、ダウンロードしてください。アプリがあれば、私達からニュースやフェイスブックライブがある時などに、お知らせが皆さんの電話に届きます。ですので、今、アプリをダウンロードしてください。無料です。Behold Israelでは、まずは私の個人的な話から始めて、それから、他のアップデートに入ります。

まず、お伝えしたいのは、私は家でゆっくり休養しました。

今行なっているツアーだけでなく、アメリカへのミニストリーツアーだけでもなく、今週は、ものすごく多忙な1週間だったのです。

前代未聞の攻撃、サタン的な攻撃に遭っていて、私個人に対するもので、主にソーシャルメディア上です。

以前、私のアップデートを妨害した、あの「anonymous/匿名」が始まっただけでなく、あれに続いて、私のインスタグラムのアカウントのクローンを作って、まるで、私が送ったかのように見せかけて、メッセージを送っていたのです。

それから、ユーチューブで、イルミナティ社会からサタン的なメッセージが届くようになりました。そこから、さらにまたフェイスブックで攻撃があって、他にも、様々なことが起こっています。昨日だけでも2度、誰かが私のアカウントのクローンを作って、それを私だと思って、皆がフォローし始めたのです。

私のインスタグラムのアカウントは、「beholdisrael」それと私の名前「AmirTsarfati」です。

私には31000人のフォロワーがいて、私は誰のこともフォローしていません。

ですから、もし、これとは違う人を見たなら、それは私ではありません。

現在、国際的な陰謀が横行していて、それが、Behold Israel と、かなりの数のクリスチャンのリーダー達に敵対しています。

我々に向けられているものの一つは、この世の異なる4箇所からです。

私を攻撃して来ている人達は、アメリカ合衆国から、それから西ヨーロッパから、あと、東南アジアから、そしてアフリカ諸国、主にナイジェリアからです。

ですから、皆さんにお伝えしておきますが、私は、前代未聞の攻撃に遭っています。

私は大丈夫ですし、心配りません。笑うことだって出来ますから。

ただ、皆さんに伝えておきたいのは、これから数週間か数ヶ月の間、皆さんも、色々なものを目にするかも知れません。

それらは、私が発信していると思うでしょうが恐らくそれは私からでは無いと思います。

敵は、「空中の支配者」とも呼ばれています。

私が心底信じているのは、世界規模で広がっている陰謀は、世界新秩序や、世界統一政府、影で操っている世界の富豪一族に敵対する、私の教えが原因だと思っています。

彼らは、まさにカバノー判事にしようとしたのと同じように・・・

と言っても、私は、自分をこの人と比べるわけではなく、ただ、私が言いたいのは、その手法が同じだということです。話をでっち上げて、人の名誉を傷つける。そして、その人に防衛に入らせるのです。

私に対しては、彼らは、偽のアイデンティティを作ることから始めて、彼らが何をし、何を言おうとしているのかは、神をご存知です。

ただ皆さんにお伝えしたいのは、膨大な数の、私一人ではありません。

私の聖書教師仲間からも、私と同じ目に遭っていると聞いていますから。

とにかく皆さんに、言っておきます。

今日、私は、これについて考えていて、電話で Jan Markell さんと話をしていました。

前はあまり深く考えなかったのですが、十月というのは、悪魔的な活動が非常に活発化し、ハイライト、頂点となるのが月末のハロウィンです。

私が心底信じているのは、クリスチャンでさえ、悪魔的な活動を自身の家や、自分たちの教会に持ち込んでいます。

皆さん、一つ言っておきます。

私は、サタン崇拝のカルトから救われた人達の素晴らしい証を聞いたことがありますが、彼らは、クリスチャン達が、ハロウィンを祝おうと考えている事に、驚愕しているのです。

ユダヤ人にはプリムがあって、彼らも同じ事をします。超正統派社会では、1年の内この日だけ、唯一、酔っ払う事が許されているのです。通常は出来ないような事を、この日は、容認します。

一年のこの時期、人々は、自分を誰か、他の人のように見せたり、普段と違う事をしようしたり、馬鹿騒ぎをします。

ただ、彼らが知らないのは、この月の間、悪魔的な活動が増大します。

そして、それを、私たちは自分の家や教会に、持ち込んでいるのです。

ですから、皆さんにお伝えしたいと思います。信者と聖書教師に敵対して、前代未聞の悪魔的活動が横行しています。

そして、ハロウィンは、そのハイライト、頂点です。

これを楽しんでいる人たち、これが素晴らしい、これの明るい面を見ていると考えている人々を見るのは、本当に悲しい事です。

これは、ただの悪魔崇拝と悪魔的な活動にすぎません。

ですから皆さん、ここできっぱりと言っておきます。

これは、私の個人的意見ですが、現在起こっている事とこれは、深く関連していると私は心底思っています。またこれは、とても悲しい事です。

という事で、この話は横に置いておいて、ビホールドイスラエルを潰そうとする、国際的な陰謀は、アフリカ、東南アジア、北ヨーロッパ、それとアメリカ合衆国、この世のあらゆるところから向けられています。

私は恐れていませんよ。彼らは、試みますが、私は大丈夫です。

私は神の御言葉を、主の導かれるままに教え続けます。

以上が一つ。

では次に、中東時事についてお話ししましょう。

まず、数日前、ベニヤミン・ネタニヤフ首相が、イスラエル国会のクネセトで演説を行いました。

その演説の中での彼の発言を、多くの人がなんとなく見過ごしていますが、彼は、次のように言いました。

「我々は、かつては、シリア国内のイランの活動に対して展開してきた。

そして我々は、まさに現在も活動している。」

さて。まず認めましょう。私達は、ロシアの航空機が撃墜されて以来、何も耳にしていません。

シリア国内でのイスラエルの活動について、私たちは、何も聞いていません。

さて、イスラエル軍が、ガザ地区でパレスチナと不必要な軍事対立をしないよう、非常に慎重になっている時、ロケットが1発2発、ガザから飛んで来ても、まだ、イスラエル軍が自分達にそう言い聞かせているなら、恐らく、本当のことから私達の目をそらしているのでしょう。

皆さんに知っておいて欲しいのは、現在シリアでイランに対して起こっている事は、大衆の目、目に見えるものから、目に見えないものへの移行です。

現地で、機密活動が行われていると言っておきます。

明らかに、我々は、飛行する事が出来ません。ロシアが、シリア周辺の空路と海路を閉鎖していますから。

ただ、私に言えるのは、また、皆さんが知っておくべきだと思うのは、私達は、まだあちらで活動している、ということ。

ですから、皆さんで結論を出してください。

もし、我々が海上で活動しておらず、もし、我々が上空で活動していないなら、残された選択肢は、もちろん地上です。

イスラエルが、新たにガザとの衝突を望んでいないのは、このためです。

現在、こうして話をしている間にも、シリア国内の地上で、機密レベルの多くの活動が行われていますから。

それから皆さん、この週は、色々な人にとって悪い1週間でした。

その一人が、ご存知の通り、サウジの皇太子です。サウジの皇太子は、現場を抑えられました。

ジャーナリスト、ジャマル・カショギの件で、私達の全員が知っている通り、手垢が全て、この男の周りの人達に繋がって行きました。

このジャマル・カショギについて、いくつかお伝えすると、

この男は、イスラエルも、ユダヤ人をも愛する人間ではありませんでした。

事実、彼は、現在のサウジの君主の事も憎んでいました。

この男は、元々サウジの新聞の編集者でしたが、彼は、どんどん過激派としての本性を現しました。

実際彼は、ウサーマ・ビンラディンとその他、有名テロリスト達と同窓であり、仲の良い友達です。

彼は、国際的と言うかアラブ社会に対して、イスラエルを根絶する為に、ハマスを助けるよう呼びかけていました。

そして彼は、実際に、イスラエルとの戦いで、ハマスの味方をしない、サウジを批判していました。

彼は、なぜ、サウジアラビアがイスラエルの味方につく必要があるのか、サウジは、なぜ、イランとの戦争で、我々の側につく必要があるのか、全体像を理解していませんでした。

彼の過激イスラムの思想では、なぜ、サウジがイスラエルを攻撃しないのかを 理解出来なかったのです。

彼は、離婚届を承認する為に、イスタンブールにある サウジの領事館を訪れて中に入り、決して出てくる事はありませんでした。彼は、姿を消したのです。

次に、私達にわかっているのは、彼の捜査がおかしくなった、というだけでなく、

彼らは、彼を殺害し、彼を切り刻まなければならなかったという事です。

彼らがそのバラバラになった遺体を、領事館の外にどうにか密輸したのか、または あちらの裏庭に埋めたのかは、誰も分かりません。

現在の捜査は、それが中心です。

サウジは、長官の責任にしようとしています。彼は、身代わりで、彼らは、世に対してこう言うでしょう。

「自分達は、彼に、ジャマル・カショギを捜査するように言っただけなのに、彼が過失で殺してしまったのだ。」

彼らは、高い確率で長官を起訴するでしょう。死刑にするかも知れません。

なぜかと言えば、現在サウジは、間違った側に味方するわけにはいきませんから。

ものすごく興味深いことが、あちらで起こっています。

トランプ大統領にとっても、良い週ではありませんでした。彼は、サウジの味方、皇太子の味方ですから。そして、サウジの皇太子を攻撃する者は皆、実際には、トランプ大統領を、攻撃したいと思っています。それは、アメリカ合衆国内だけでなく、トルコやカタールといった、こんにち、サウジの猛烈な敵である、他のスンニ派諸国でも同様です。

スンニ派對シーア派だけでなく、スンニ派界自体は、完全に崩壊していて、トルコは、スンニ派界のリーダーになりたいのです。

その為、トルコは、サウジアラビアの目の前にある、スーダンの半島に軍の野営地を建てたのです。

もちろん、他方で、イエメンは大混乱を生み出しています。

サウジが現場を抑えられて以来、イエメンのフーシ派は、サウジアラビアを毎日攻撃しています。

それも、ただ攻撃しているだけでなく、サウジの軍事部隊を破壊して、彼らの装備を全て奪って、どんどん前進しています。

現在、サウジは、イエメンから激しく攻撃されていて、イエメンは全員、イランが提供する装備を使用しています。

ですから、イランは、引き続き動いています。

念のために言っておきますと、イスラエルは、イランが昨日、非常に感度の高い装備を、バイルートへ移送した事に気づいています。

感度の高さととは、武器の精密化の事で、何の変哲も無いロケットにその装置をつけて、正確に標的を狙える”スマートロケット”を作るものです。

これは、致命的で高性能な武器であり、当然我々は、これがヒズボラの手に入るのを止めようとしています。それと、もちろん、シリア国内にいるイランの民兵の手にも渡らないように。

という事で、現在我々は、もはやイスラエルは地上でしか活動出来ないところまで来ています。

そして多分、我々が空から攻撃する状況になるでしょう。

想像出来ますか？もし、イスラエルが空から攻撃して、ロシアが作動するS-300が、我々に向けて使われたら？

我々が、それを破壊するとすれば、おそらく、我々が、ロシアの兵士を何人か殺す事になるでしょう。

その時の、ロシアの反応が想像できますね？

そこから、ロシア率いる、対イスラエル戦争にエスカレートする事は、皆さんにも想像出来ますね。

これが聖書的である事は、私達全員が知っています。聖書によれば、まさにその通りのことが起こります。

それから皆さん、シリアで起こっている事についてですが、イスラエルは、今、地上で機密レベルで活動しています。

我々は、飛行することが出来ません。

現在、ロシアにとって、飛行が問題である事は、我々も知っていますね。

念のために言っておくと、イスラエルは、彼らの飛行機を撃墜していないことを、証明しました。

さらに我々は、我々がロシアの飛行機の背後に隠れていなかった事を、ロシアに対して証明しました。

しかしながら、イスラエルが電子戦争を戦う時、ロシアのレーダーに、居場所を知られないようにする為、我々は、ロシアのレーダー画面を乗っ取り、偽の映像を与えるのです。

そうすれば、イスラエルの飛行機が着陸しようとしている時、まだロシアのレーダーに出ている、偽の映像では、まるで我々が、ロシアの飛行機の背後にいるように映っているのです。

そして、我々がこれを行なった理由は、おそらく、ロシアの攻撃を回避する為だったのでしょう。

なぜなら、ロシアがS-400を持っていて、すでにラタキアの真横にある、フメイミムの彼らの空軍基地を防衛していますから。

だから、ロシアは激怒しているのです。

彼らのレーダーの画面は、ある事を映し出し、我々は、全く別のものを使って、我々があそこに居なかった事を、証明しましたから。

彼らは、どうやらイスラエルが、彼ら独自のレーダーを妨害したらしい、という事実に激怒しているのです。

勘違いしてはいけませんよ。

イスラエルが、彼らのレーダーには大して価値がない事を証明すればどうなるか。

皆さん、はっきりとご存知の通り、誰も、我先にとロシアの装備を買いません。

私の友達が教えてくれたのは、イスラエルが現在、ウクライナで訓練を行っているとのこと。

そこでは現在、空軍が訓練を行っています。

ウクライナがS-300を入手して以来、アメリカとイスラエル、両方のパイロットが、実際にS-300のレーダーシステムを避けて飛行する訓練を行っているのです。

イスラエルは、ギリシャ空軍と一緒に飛行していた時すでに、旧式のS-300で行っていましたが、現在は、アメリカの空軍と、ウクライナの上空で、それをしているのです。

これは、ロシアにとっては全くありがたくない話です。

次に、先週解放された、ブランソン牧師について、いくつかお伝えします。

エルドアン大統領は、自国の法廷制度をほめたたえましたが、ブランソン牧師が、全くの無実で投獄された事は、誰もが知っています。

エルドアン大統領は、アメリカが、Fethullah Gülenを手渡すことを望んだのです。

彼は、アメリカ在住の亡命者で、敵対する指導者です。

そこで彼が考えたのは、「アメリカが自分の思い通りに動かないなら、こちらはアメリカ人牧師を使おう。偽の証人にを何人か立てて、偽の証言をさせて、偽の申し立てをする。」

そういう事です。

それが突然、思いがけなく、トランプ大統領の制裁の後、リラを直撃し、エルドアン大統領の経済が暴落。

すると突然、4人の証人たちが、4回目の公聴会で、自分たちの視点を変える決断をしました。

その為、ブランソン牧師は解放されたのです。

全てはペテンに過ぎず、エルドアンは今、以前は知らなかったことを知っているでしょう。

それは、「新しい警官が町にいる」ということ。そして、「今、ホワイトハウスには、違う大統領がいて、もはや、彼を脅すことは出来ない。」

今後、彼に対する態度は、完全に違うものとなるでしょう。

ただ、私に言えることは、トルコはすっかり裏切られたと感じており、すっかり激怒しています。その為、武器購入に関しては、おそらくアメリカとはもう、一切取引しなくなるでしょう。しかし、一つ言えることは、アメリカは、NATOのメンバーが実際に武器をロシアから買っている事に、非常に気を揉んでいるはずで、アメリカが、トルコに渡そうとしている、F-35を考えてみても、彼らが行うことと言えば、即座にロシアの専門家呼び、それを調べるでしょう。そして、2年後にはロシア版F-35の出来上がりです。イランも同様なのは言うまでもありません。

興味深い事に、ロシアの外務大臣セルゲイ・ラブロフが、「ロシアは、ゴラン高原におけるイスラエルの支配圏を認めない。これは、国際法に反する。」と発言しました。彼はなぜ、シリアが火の海になっている今、これを言うのだと思いますか？数百万人以上が避難していて、ダルア市を含む全ての市で、百万人近くが殺害されている今？現在、どこも完全に破壊されて、ゴースタウンです。彼らのゴラン高原に対する執着は何なのか？皆さん、ゴラン高原には、石油があるのです。覚えていますか？全ては、戦争の略奪が目的です。

それから、もう一つ、皆さんにお伝えしたいのは、オーストラリアの新しい首相は、福音派のクリスチャンで、その彼がイスラエルの首相に電話をして、彼の意図を伝えました。彼らの政府の建物、基本的にはオーストラリアの大使館をエルサレムに移動し、エルサレムをイスラエルの首都として認識する、と。ただ、皆さんに言っておきたいのは、オーストラリアのシークレットサービスや、セキュリティサービスが彼らの首相に行っている事は、CIAやFBIが、トランプ大統領に行ったのと同じです。大使館を移動すれば、暴力がエスカレートするだろうと言って脅します。これら全ては、安物のプロバガンダです。ただ、彼らの言っている事を考えると、彼が、これを押し通すかどうか、私は疑っています。現在、オーストラリアの大使館移動を阻止しようとしている、悪の勢力が多く存在します。大使館の移動だけでなく、イラン協議からの撤退と国連でイスラエルに投票する事に対しても、です。問題は、何度も言いますが、非常に多くのリベラルや、闇の国家の人間が、シークレットサービスやセキュリティサービスに居て、彼らが、これを回避しようとしているのです。私たちも、この行方を目にすることになるでしょう。オーストラリアにとっては、大きな前進となり、このことで、神が彼らを大いに祝福してくださると思います。

2日前、パレスチナが2発のロケットを発射し、1発は、テルアビブに向けて地中海に落下、もう1発は、ベエルシェバ市の民家の屋根に着弾しました。ベエルシェバ市は、イスラエル南部にある大きな市です。さて、神がどれだけすごい、説明したいと思います。アイランドームについては、なぜ、ロケットを撃墜出来なかったのか、私達にははっきりと分かりません。しかしベエルシェバ市で、空襲警報が鳴り響きました。ベエルシェバの住民は、空襲警報のサイレンが鳴ってから、ロケットが着弾するまでの間、防空壕まで走って逃げ込む時間は、文字どおり1分しかありません。それが、真夜中、母親は目を覚まし、走って2階の部屋へ行き、3人の子供たちを連れ出して、走って防空壕へ逃げ込みました。そして、母親が防空壕のドアを閉じた瞬間に、ロケットが彼女の家に着弾したのです。

全てが破壊され、唯一残っていたのは、防空壕だけでした。彼らは、ドアを開けた時、家が丸ごと無くなった事を知りました。しかし彼女は無事、子供達も無事でした。これは、ものすごい奇跡です。こういった事を、私たちは、戦争の度、また何かが起こる度に目にしています。

イスラエルを守る方は、まどろむことも、眠ることもありません。これは、本当に素晴らしいことです。神に栄光あれ！

あの母親の素早い行動に、皆が感動しましたが、それ以上に私たちは、ロケットが民家に落ちて、なのに、全員が無事だったことに、感動します。

アメリカにいる私の友人達へお伝えします。

私は現在、信じられないような反ユダヤ主義の波を目にしています。

これについて説明しますと、ところで、これは、私が、アメリカ合衆国からも激しく攻撃されている理由です。

世界統一政府を推し進めている大富豪一族が、大成功している方法は、彼らが常に両側を煽るからです。一方で社会主義を煽り、もう片方で、自由貿易を開放します。

彼らは、ナチスを煽り、反対側で連合軍を煽ります。

常に両方を煽り、その為に、常に両方が戦争をすると、彼らは、その戦争で利益を得ます。

皆さんにお伝えしたいのは、

アメリカのクリスチャンの中で、素晴らしいイスラエル支援が起こっているのと同時に、アメリカ合衆国内で、前代未聞の反ユダヤ主義の波が起こっています。それは、イギリスでもです。

イギリスでは、労働党で昨日、ユダヤ人は、立ち入る事さえ許されない集会が始まりました。

ユダヤ人は、入ることも許されないのです。信じられません。「ユダヤ人の苗字の者は来るな！」と。

アメリカはどうか？皆さんに、言っておきますが、

私が衝撃を受けたのは、アメリカの大学にあった、カバノー判事の件と、その他起こっている事に関するポスターです。

基本的に、このポスターが伝えているのは、

「反白人、反アメリカ人、反自由主義のイベントは、よく見ると、いつもユダヤ人が後ろにいる。」

信じられません。

もし、これで足りないなら、

有名なイスラム国家の指導者ルイス・ファラカーンが昨日、言いました。

「私は、反ユダヤ主義ではなく、反ターマイト(シロアリ)主義だ。」

基本的に、「ユダヤ人は、シロアリ以外の何ものでもない」と言っているのです。

皆さん、一つお伝えすると、私は、民主党派がルイス・ファラカーンを批判するのを、一切聞いていないと思います。彼と親しいオバマ大統領からも、一言も聞きませんし、

民主党の指導者からも、何も聞きません。ちなみに一部はユダヤ人だと思いますよ。

多くの人を指導する立場の者が、こんな事を言うなんて、私には理解できません。

ところで、ニューヨークブルックリンでユダヤ人達が攻撃されたのも、うなずけます。

今週、3人のラビ達が、日中ですよ？イスラム国に所属する者達から、激しく殴打されました。ムスリムに属するアフリカ系アメリカ人です。

70歳のラビと65歳のラビが、暴行を受けているのが、防犯カメラに映っているのです。日中です。夜でもありません。驚くほどの反ユダヤ主義の波が広がるのを、私たちは目にしています。

それを指揮して、取りまとめているのは、片方で差別を批判している、同じ人間です。信じられません。

また別の動画で私が見たのは、

アンティファの活動家が、ニューヨークの9-11で現場に駆けつけ犠牲になった警察官の妻を、呪い、言葉で激しく攻撃していました。

実際彼は、彼女に対して、恐ろしい言葉を言いました。直ちに刑務所に投獄されるレベルです。現在のはびこっている狂気の波は、信じられません。ところでこれは、世界中ですよ？しかし、アメリカでは、ものすごく大きな波が起こっています。

もしこれで足りなければ、皆さん、先週末、有名な「Christ at the checkpoint/チェックポイント（検問所）でのキリスト」のカンファレンスに参加する為、オクラホマシティーを訪れた人物。これは、反イスラエルの、「クリスチャン」集会です。親パレスチナ派、ものすごい反ユダヤ主義、激しい反イスラエル主義です。このイベントの、メインスピーカーの一人が、繰り返しますが、これは、「Christ at the checkpoint/チェックポイント（検問所）でのキリスト」これが、この狂った人たちの集まりの名前です。彼らは、西岸地区とベツレヘムの両方とアメリカ合衆国の至る所でカンファレンスを行っています。この、Steven Caesar という名の男、彼は牧師というか、英国聖公会の牧師でした。そしてこの人物が、基本的には、こう言ったのです。「イスラエル、ユダヤ人が、9-11の攻撃の背後にいる。」これ、見てください。クリスチャンです。クリスチャンであるはずの人達が、「イスラエルとユダヤ人が世界の問題である」と主張する人物を接待しているのです。私たちは、テロリストが誰なのか、彼らを送り込んだのが誰なのかを知っています。彼らの誰一人としてユダヤ人でないどころか、全員ムスリムです。9-11が起こった時、誰が東エルサレムの路上でキャンディーを配っていたか、私たちは、はっきりと知っています。パレスチナ人です。つまり、9-11でのアメリカ人の死を、パレスチナ人達がパレードし、歓喜していたのです。それが、クリスチャンの牧師であるはずの者が登場して、クリスチャン達に、イスラエルがその背後にいる、と言うのです。これは、サタンのですよ。悪魔的です。この男は、非難されるべきです。ところで、このムーブメントは、アメリカの非常に有名なクリスチャンの指導者達によって支援されています。これは、非難されるべきだと言っておきます。

という事で、非常に多くのことが起こっていて、全部をお伝え出来ませんが、最初の話に戻りたいと思います。霊的戦いが、どんどん増大しています。私自身も、これまでに経験したことのないものに直面していますが、ものすごくたくさんの人達からも聞いています。それから、一つ言うておきますと、皆さんも全員が、それを見たいと思います。これは、悪魔的、サタンので、今月末に向けて、どんどん激しさを増すと私は心底信じています。ハロウィンは、あなたにとっては、素敵で面白い祝日かも知れません。しかし、これは、アメリカ及び世界中での悪魔的な活動の頂点です。悪魔が活動する事を私達が許せば、彼らは大勢でやって来て、好き放題に活動します。聖書のエペソ6章に書いてある事を、思い出してください。私達の格闘は血肉に対してではありません。私達は、それを理解しています。ただ、前にも言ったように、格闘は主権、力、この暗闇の世界の支配者に対してで、天で起こっているのです。皆さん、理解しておいてください。サタンは、投げ落とされたかも知れません。しかし、彼は神の居られる所から、低いレベルに落とされたのであって、まだ天にいます。彼はまだ、地上には投げ落とされていないのです。

彼が一旦地上に投げ落とされて、彼の表明は、反キリストがここを統治している時に起こります。私たちは、ここを出て行きます。

皆さんに言うておきますが、現在、天では、激しい戦いが起こっています。興味深いですが、黙示録 12、13 章を注意深く読めば、19 章に至るまで、あちらで起こっている事が分かります。

皆さん、思い出してください。

サタンが地上に投げ落とされる前に、天で激しい戦いがあるのです。

そして、その、天で起こっている事が、現在、地上で反映されているのです。

私たちは、その影を見ていて、現在 あちらで起こっている事の、名残りを感じています。

聖書は、こう告げています。読んでみましょう。

黙示録 12 章 7 節にこうあります。

「さて、天に戦いが起こって、ミカエルと彼の使いたちは、竜と戦った。

それで、竜とその使いたちは応戦したが、」

戦いがある、サタン、竜と、その使いが戦っています。

現在、激しい戦いが起こっているのです。私達には、大天使のミカエルがいて、それから、ここに書かれている事を見てください。こう言っています。

「勝つことができず」

素晴らしいと思いませんか？ 私達は、信者として終わりを知っているのです。

彼らは打ち勝たない。

しかし戦いはあり、彼らは応戦します。

私たちは、現在、それを目撃していて、その戦いを感じています。

私たちは、現在起こっている戦いを感じています。激しい霊的戦いが起こっています。

聖書が霊的戦いについて語る時、天では、現在、本当の戦いが起こっている事を、理解しなければなりません。

そして、サタンが地上に投げ落とされた瞬間、私たちはここを去るのです。

いいですか？ その時、交換が起こります。私たちは上へ上がり、彼は、ここに降りて来て表明する。

だから、第二テサロニケ 2 章は、告げているのです。

引き止めるものが取り除かれる時、その時に、反キリストが、本性を現す事が出来るのです。

私たちは、取り除かれなければなりません。

そして、これ、見てください。

戦いは始まっています。そしてその戦いは、彼が投げ落とされ、私たちが上に上がって、終わります。

教会の携挙は、地上の出来事に左右されるのではなく、全て天の出来事次第です。

聖書は、エゼキエル戦争やその他、非常にたくさんの事を描写していますが、

これらは、イスラエルの救いや、大患難、この地上での事に影響するのです。

しかし聖徒に関しては、出来事は、私たちが上に上げるのです。

そして彼は、下に落とされます。

ですから、戦いはもう始まっています。あちらでは、激しい戦いが起こっています。

皆さん、言うておきますが、これは激しい戦いです。

そしてすぐに、私たちは場所を入れ替わります。私たちは上に上がって、イエスに会い、彼は投げ落とされます。

残念ながら、いつも言うのですが、大患難は、イスラエルの救いの為です。

これは、神が、イスラエルの気をひこうとされるのに他なりません。

そして最終的には、神が、彼らをお救いになります。

ただ、皆さんに理解しておいて欲しいのは、異邦人の時が完成するまで、イスラエルの、国家的な救いはあり得ません。

つまり、イスラエルが救われるやいなや、異邦人の完成の時です。

これについて、いくらでもお話し出来ますが、現在、千年王国のメッセージを用意している最中で、これがすごいのです。これが素晴らしくて、一体全体、どうして神は、イエスを送り、さらに千年間を地上で支配させるのか？

その目的は何なのか？

全ての答えが、メッセージの中に入っています。全て、聖書に適った、御言葉からの答えです。

誰が、彼と共に統治するのか？

皆さん、メッセージの中から、ほんの“ひとかじり”だけお伝えしますと、今、心を主に明け渡し主に統治してもらっている私達が、その時、主と共に統治する者となります。今日、もし、彼が私たちの王であるなら、私たちは、彼と共に千年王国で統治します。もし今日、彼が私たちの王でないなら、私たちは千年王国で、彼と一緒に居ることすらありません。次のことを、しっかりと理解しておいてください。今日のあなたの信仰が、千年王国のあなたの立場を決定するのです。

さて、いつも言われるのは、

「今日信じなくても、後で信じるチャンスはある。」

「仮に携挙を逃しても、まだ大患難時代と千年王国が残っているから。」

一つ、言っておきます。

次の聖句(ローマ11章)を、思い出してください。

「異邦人の完成なる時が来て、”そうして”、イスラエルの全家が救われる。」

つまり、異邦人の完成なる時とは、もう、信仰に至る異邦人はいない、という意味です。

これは、神がそれを望まないのではなく、彼らが、神を求めないためです。

神を求める異邦人は、今、彼を選んでいきます。

今、彼を選ばない人達は、高い確率で、将来も彼を選ばないでしょう。

それまでです。

現在、彼を拒んでいて、将来、彼を受け入れる唯一の国はイスラエル。これは、聖書の通りです。

聖書は、それについて告げています。

ただ、覚えていてください。イスラエルの救いは、異邦人の完成と繋がっているのです。

異邦人の数が満ちたら、その時、イスラエルの全家が救われます。

今日です。だから使徒パウロは言ったのです。

「今日が、救いの日。」明日ではありません。

だから、世界中で起こっている全てのこと、また、現在起こっている激しい霊的戦い、

これは、私たちが間もなくここを出て行く事を知る、最も重要なしるしです。

そして、あなたにとっては、今が、主を受け入れる、最も重要な時です。

なぜかといえば、もし、一旦、携挙が起これば、

そしてもし、あなたが、後からでも、イエスを信じる事が出来ると思っているなら、

どうか、いつもいつも、ご自分に言い聞かせてください。

イエスを信じるという事は、あなたの頭が、他の体全部から切り離される事を意味します。

これを覚えていてください。

今は、何も犠牲になりませんが、将来は、あなたの頭と他のもの全てが犠牲になります。

もし望むなら、です。

聖書は、大患難について、実に恐ろしい描写をしています。

人々がすっかり盲目になり、神が正しい道であるとは、考えようとしません。

神には、起こっていることを全て止める事が出来るのを知っているながら、まだ、神に立ち返ろうと思わず、また、神に栄光を帰しませず、彼の御名を冒涇します。

聖書の黙示録16章に、そう書かれています。

ですから皆さん、現在、世界中で、霊的戦いが起こっていて、人々が盲目になっています。

今こそ、あなたが主に立ち返る時です。今こそ、あなたが信じる時です。

今こそ、王として、また彼と共に統治する者として、あなたの立場を、確実なものにする時です。

私には、私たちが治める人達のことを想像するのも難しいです。なぜかといえば、彼らは迷い出た人達ですから。

ですから皆さん、多く語り過ぎた気がしますが、準備中のこのメッセージは、間もなく完成します。

今日は、現在イスラエルで起こっていることについて、アップデートしました。ところで、イスラエルは、経済に関して、我々はこの半期の成長率を、4.2%に訂正しました。西洋社会で最高です。中国は6.5で、さらに高いですが、あそこは西洋社会ではありませんから。ただ、皆さんに言いたいのは、イスラエルは、絶好調です。しかし、繰り返しますが、悪魔的な活動が現在横行していて、恐ろしくおぞましい事が、いたる所で起こっています。

私は、それを感じています。私は個人的に、私への攻撃でそれを感じています。また、私は、いたる所全体にそれを感じています。それは、私の人生だけでなく、いたる所全体です。今こそ、神の武具を身につけて、強くなる時です。胸当てを着け、剣、盾を使う事から、正しい履物まで、全てです。今がその時です。信者として生きるには、今が、世の歴史上最も重要な時です。この事を、皆さんにお伝えしたいと思いました。

では、このメッセージをアロンの祝福を持って締めくくりたいと思います。

『主があなたを祝福し、あなたを守られますように。
主が御顔をあなたに照らし、あなたを恵まれますように。
主が御顔をあなたに向け、あなたに平安を与えられますように。』民数記 6:24-26

シャローム、彼の平安。イエスは言われました。

「あなたがたがわたしにあって平安を持つためです。あなたがたは、世にあっては患難があります。しかし、勇敢でありなさい。わたしはすでに世に勝ったのです。」ヨハネ 16:33

ですからお父様。あなたに感謝します。

私たちの全ての理解を超える平安、唯一、平和の君、平和の主からくる平安が、いつも、どこでも、今も永遠にありますように。

イエスの御名によって。アーメン！

ありがとうございます。

私たちのディボーションを毎週受信したい方は、ウェブサイトを訪れてお申し込みください。

Beholdisrael.org です。

ユーチューブ、フェイスブック、インスタグラムは、**Behold Israel** (ビホールドイスラエル) です。

無料アプリを入手してください。**Behold Israel** です。

ありがとうございます。イスラエルのテルアビブより、**God bless you! シャローム! I love you!**

さようなら。

メッセージ by Amir Tsarfati/Behold Israel :<http://beholdisrael.org/>